

グラフでみる加工食品の 生産・販売、外食等の指標



目次

<グラフでみる生産販売統計>

1. 加工食品の生産動向
2. 食品卸売業・食品小売業
3. 外食産業
4. 食料品の物価

<今月のトピック>

- ・令和5年物価の上昇について



1. 加工食品の生産動向

食品需給研究センターでは、食品製造業の月次生産動向について、調査・分析業務（農林水産省「食品産業動態調査」）として実施しています。

ここでは、加工食品のうち、特コロナ禍で変動の大きい品目の生産動向（増減率、速報値）についてとりあげます。

なお、詳細は、<https://www.fmric.or.jp/stat/index.html>

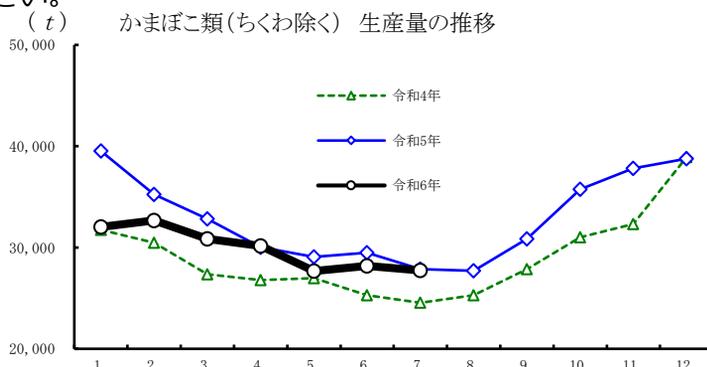
「食品製造業の生産動向」をご覧ください。

○ かまぼこ類

生産量 対前年同月比

7月 0.5% 減少

令和元年同月比 **2.6% 減少**

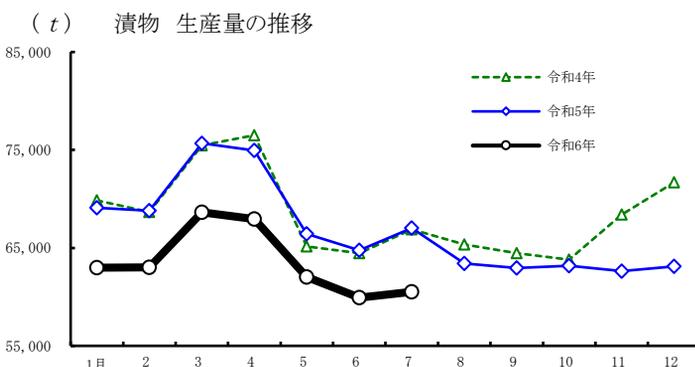


○ 漬物

生産量 対前年同月比

7月 9.7% 減少

令和元年同月比 **3.6% 減少**

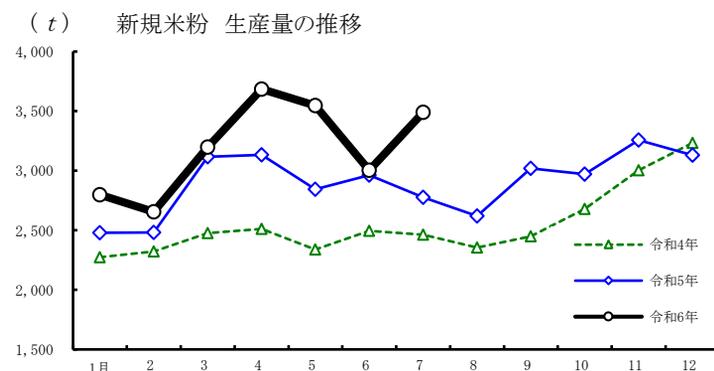


○ 新規米粉

生産量 対前年同月比

7月 25.8% 増加

令和元年同月比 **44.1% 増加**

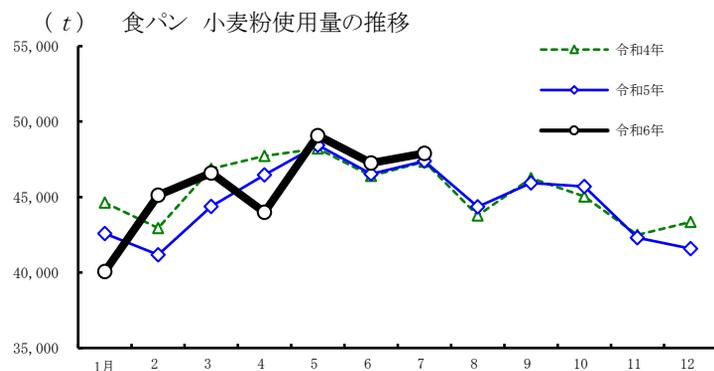


○ 食パン

小麦粉使用量 対前年同月比

7月 1.0% 増加

令和元年同月比 **4.2% 減少**



1. 加工食品の生産動向

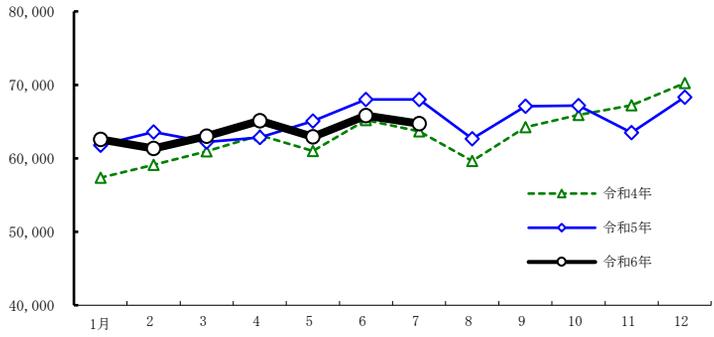
○ 生めん類

小麦粉使用量 対前年同月比

7月 4.5% 減少

令和元年同月比 **1.4% 減少**

(t) 生めん類 小麦粉使用量の推移



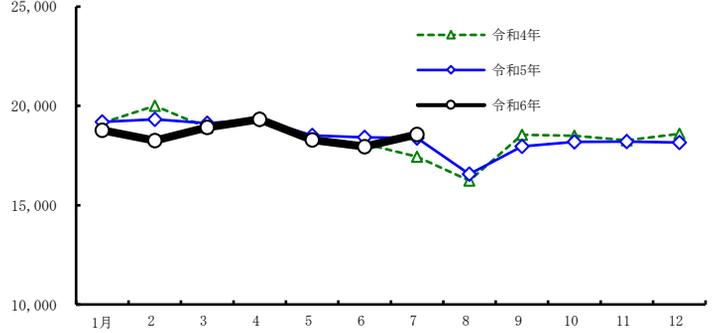
○ 即席カップめん

小麦粉使用量 対前年同月比

7月 1.0% 増加

令和元年同月比 **15.3% 増加**

(t) カップめん 小麦粉使用量の推移



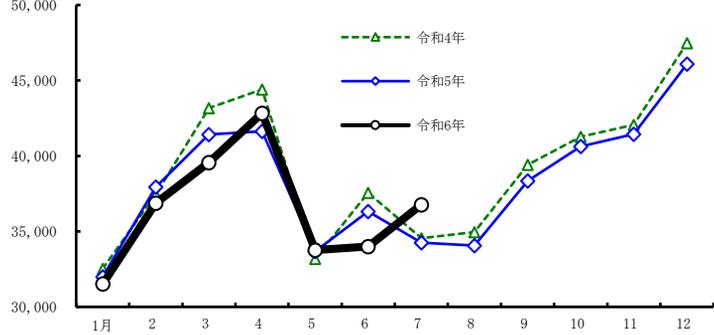
○ 味噌

生産量 対前年同月比

7月 7.3% 増加

令和元年同月比 **4.6% 減少**

(t) 味噌 生産量の推移



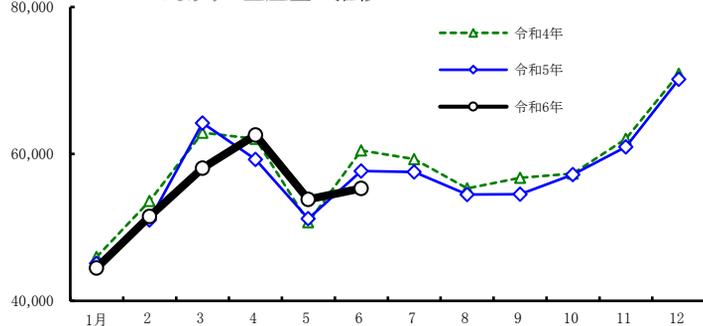
○ しょうゆ

生産量 対前年同月比

6月 4.1% 減少

令和元年同月比 **8.4% 減少**

(kl) しょうゆ 生産量の推移



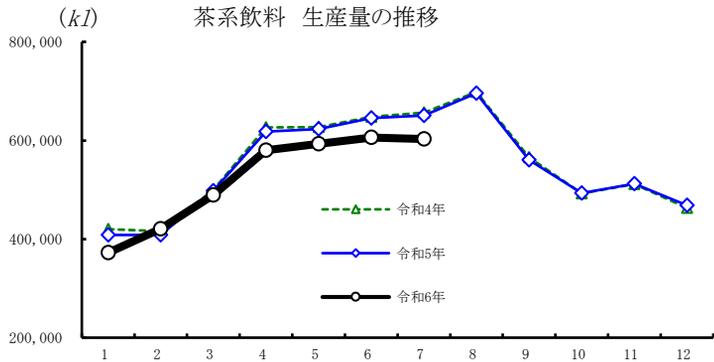
1. 加工食品の生産動向

○ 茶系飲料

生産量 対前年同月比

7月 7.3% 減少

令和元年同月比 11.2% 減少

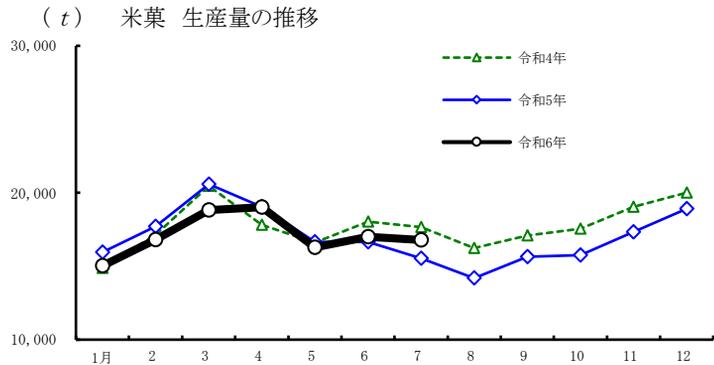


○ 米菓

生産量 対前年同月比

7月 8.0% 増加

令和元年同月比 8.1% 減少

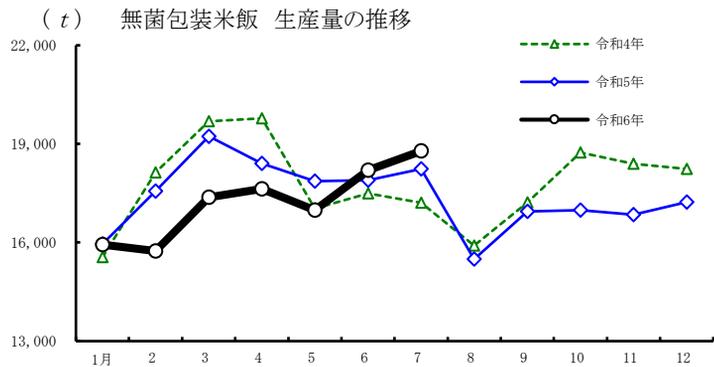


○ 無菌包装米飯

生産量 対前年同月比

7月 3.0% 増加

令和元年同月比 30.4% 増加

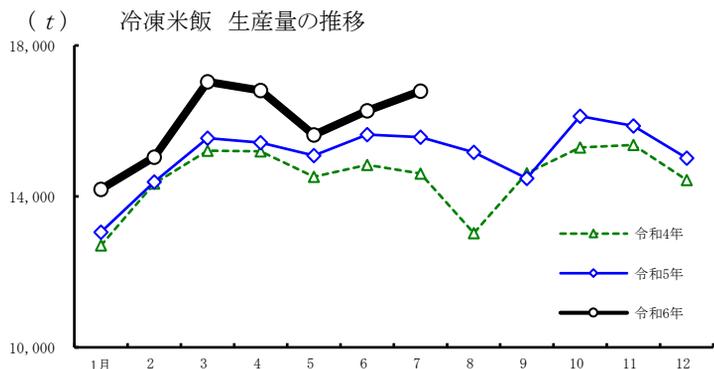


○ 冷凍米飯

生産量 対前年同月比

7月 7.8% 増加

令和元年同月比 5.6% 増加



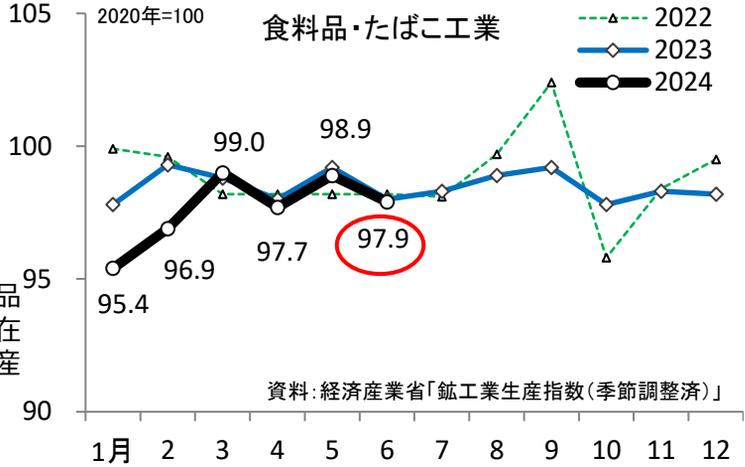
<参考> 食料品・たばこ工業の生産動向
(経済産業省「鉱工業生産指数」より)

○ 食料品・たばこ工業

生産指数 対前年同月比

6月 0.1% 減少

※経済産業省「鉱工業生産指数」は、鉱工業製品を生産する国内の事業所における生産、出荷、在庫に係る諸活動の統計。食品製造業の月次の生産動向について、みることができます。



2. 食品卸売業・食品小売業

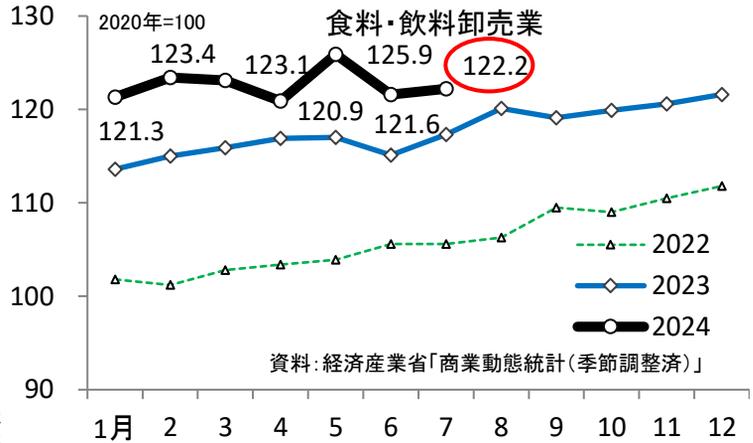
○ 食料・飲料卸売業

売上高 対前年同月比

7月 4.2% 増加

2019年同月比 19.9% 増加

経済産業省「商業動態統計」は、全国の商業を営む事業所及び企業の販売活動の統計。具体的には、卸売業、小売業及び小売業の業態別(スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の飲食料品都等の売上高(月次速報)について、みることができます。

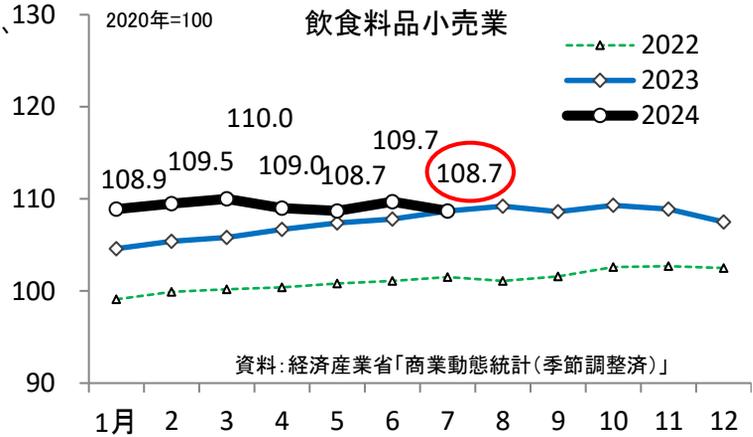


○ 飲食料品小売業

売上高 対前年同月比

7月 0.0% 前年並

2019年同月比 10.5% 増加

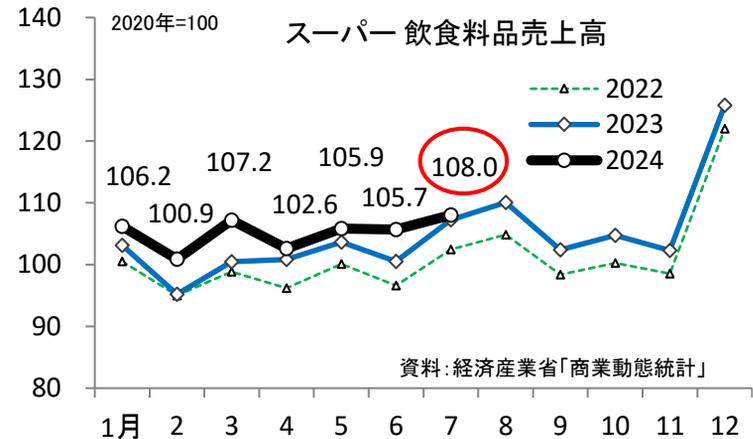


○ スーパー

飲食料品売上高 対前年同月比

7月 0.7% 増加

2019年同月比 31.7% 増加



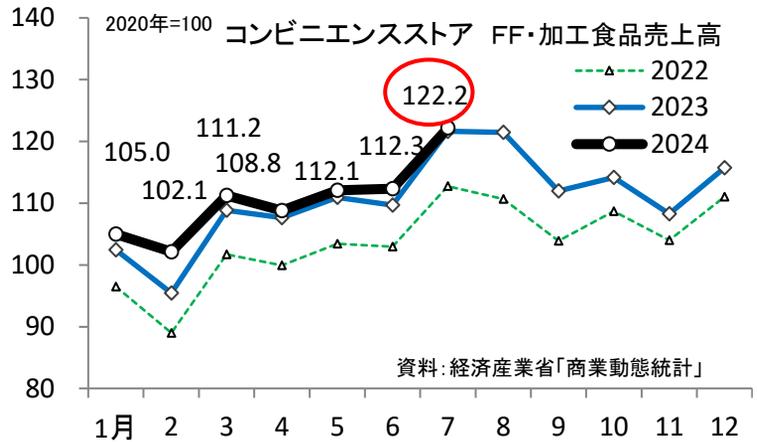
2. 食品卸売業・食品小売業

○ コンビニエンスストア

FF・加工食品売上高 対前年同月比

7月 0.4% 増加

2019年同月比 17.7% 増加

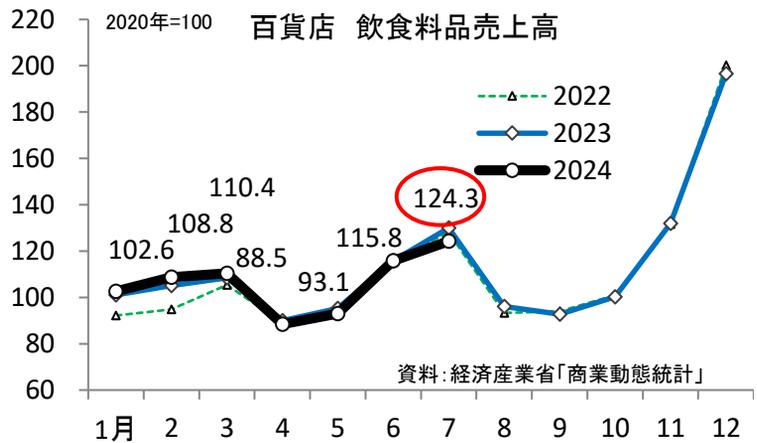


○ 百貨店

飲食料品売上高 対前年同月比

7月 4.4% 減少

2019年同月比 14.9% 減少



3. 外食産業

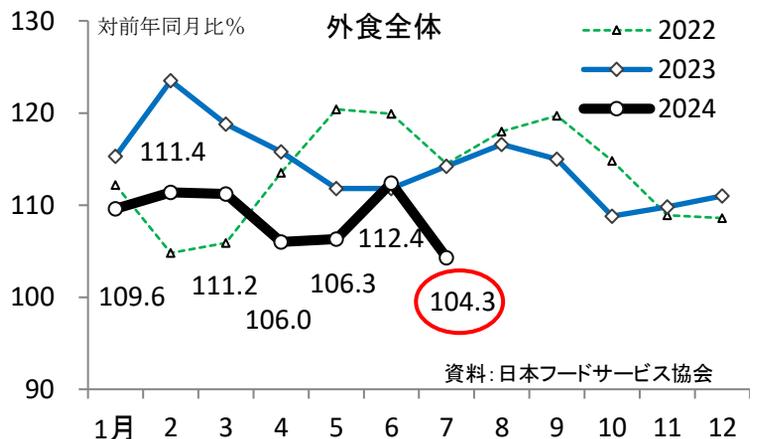
一般社団法人日本フードサービス協会の「外食産業市場動向調査」は、外食チェーン企業203社約3万9千店の売上高等についての業態別の統計。直近の売上動向がわかります。

○ 外食全体

全店売上高 対前年同月比

7月 4.3% 増加

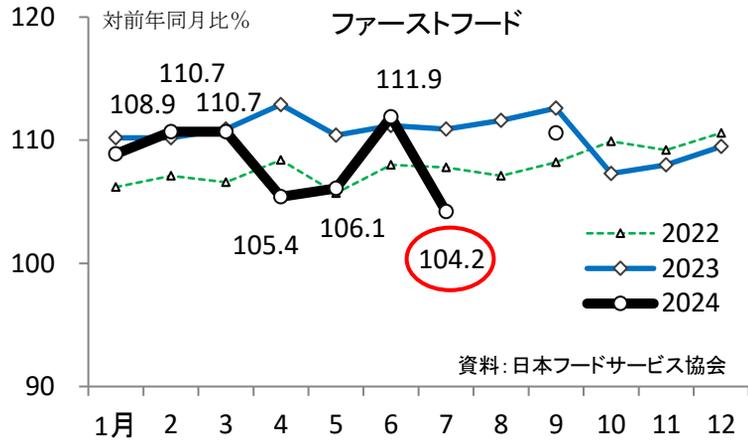
2019年同月比 18.4% 増加



3. 外食産業

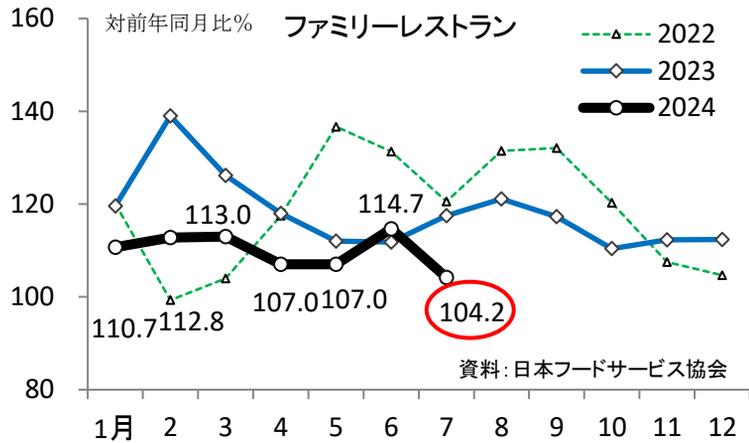
○ ファーストフード

全店売上高 対前年同月比
7月 4.2% 増加
 2019年同月比 30.4% 増加



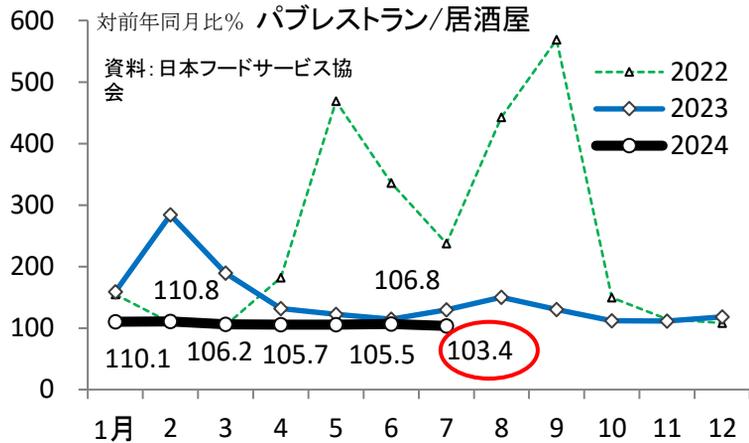
○ ファミリーレストラン

全店売上高 対前年同月比
7月 4.2% 増加
 2019年同月比 6.9% 増加



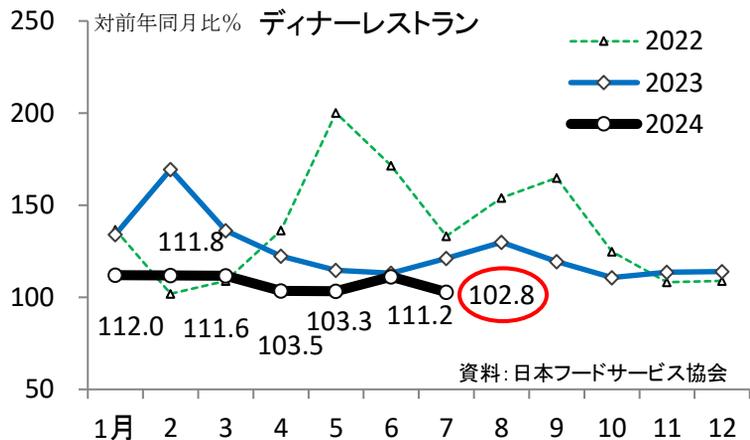
○ パブレストラン/居酒屋

全店売上高 対前年同月比
7月 3.4% 増加
 2019年同月比 7.6% 減少



○ デイナーレストラン

全店売上高 対前年同月比
7月 2.8% 増加
 2019年同月比 4.1% 減少



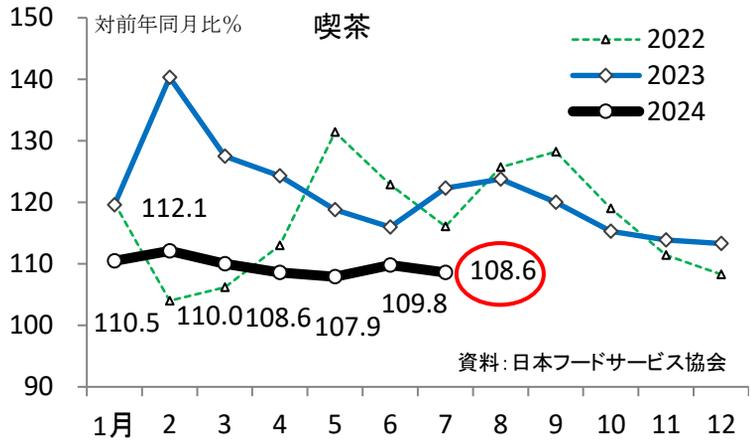
3. 外食産業

○ 喫茶

全店売上高 対前年同月比

7月 8.6% 増加

2019年同月比 9.6% 増加



4. 食料品の物価

○ 企業物価指数

企業物価指数は、企業間で取引される品質を固定した商品（財）の価格を継続的に調査し、現在時点の価格を、基準時点（2015年）の価格を100として、指数化したもの。

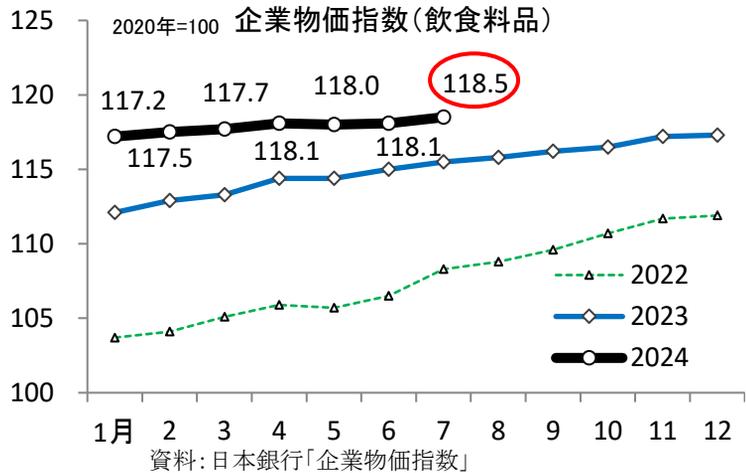
このうち、食品製造業（飲食料品）の出荷販売価格について、みることができます。

資料：日本銀行「企業物価指数」

○ 企業物価指数 （飲食料品）

飲食料品 対前年同月比

7月 2.6% 上昇



○ 消費者物価指数

消費者物価指数は、全国の世帯が購入する財及びサービスの価格変動を総合的に測定し、物価の変動を時系列的に測定するもの。

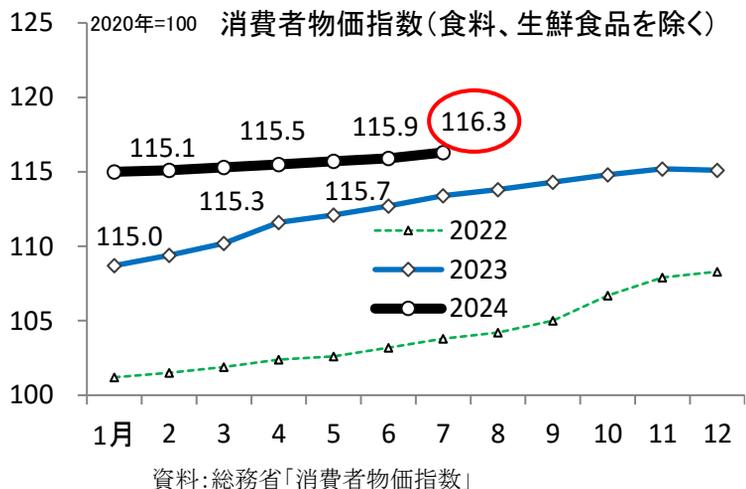
このうち、食料（生鮮食品を除く）について、みることができます。

資料：総務省「消費者物価指数」

○ 消費者物価指数 （食料（生鮮食品除く））

食料 対前年同月比

7月 2.6% 上昇



令和5年における飲食料品・食料用農水産物の輸入物価指数は対前年比2.4%とわずかに上昇

飲食料品・食料用農水産物の輸入物価指数は、令和3年以降は急激な円安による物価上昇やコロナ禍後の需要拡大などから、令和4年は対前年比27.9%と大幅な上昇となった。令和5年は対前年比2.4%とわずかに上昇し、落ち着きをみせている。

図1 飲食料品・食料用農水産物の輸入物価指数と為替レート指数の推移

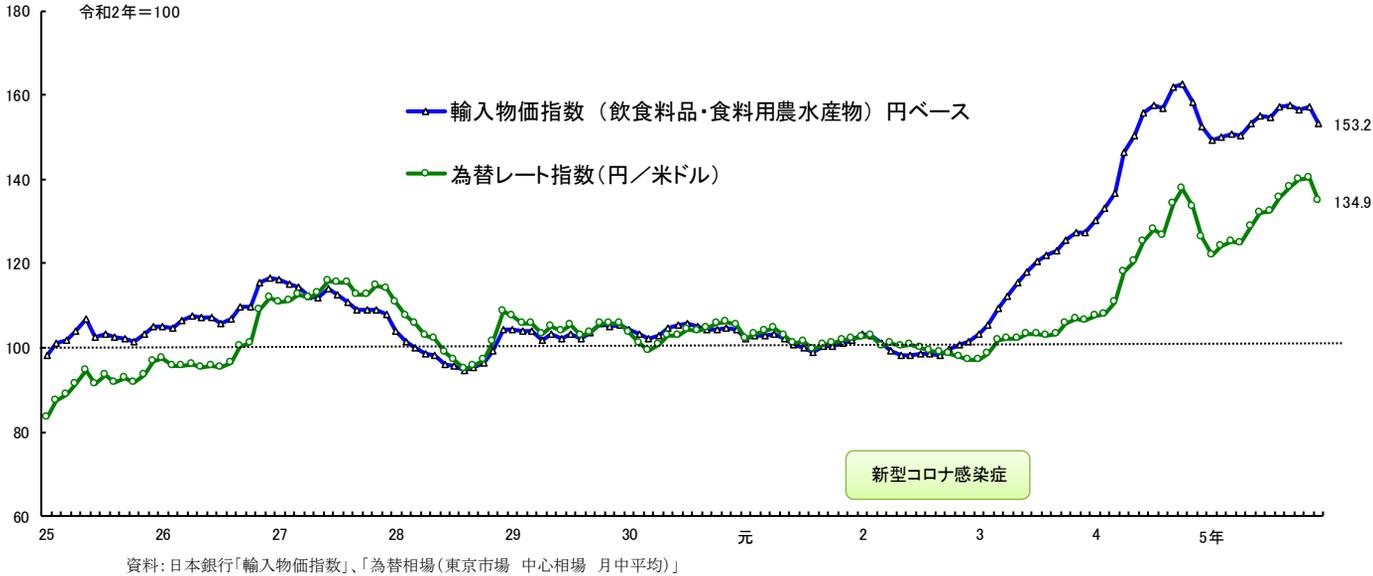
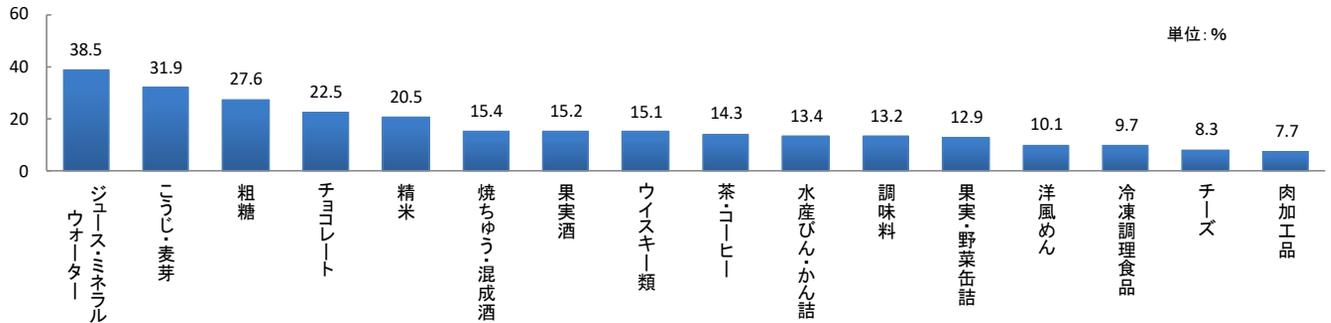


図2 令和5年における輸入物価の主な上昇品目 (対前年上昇率)

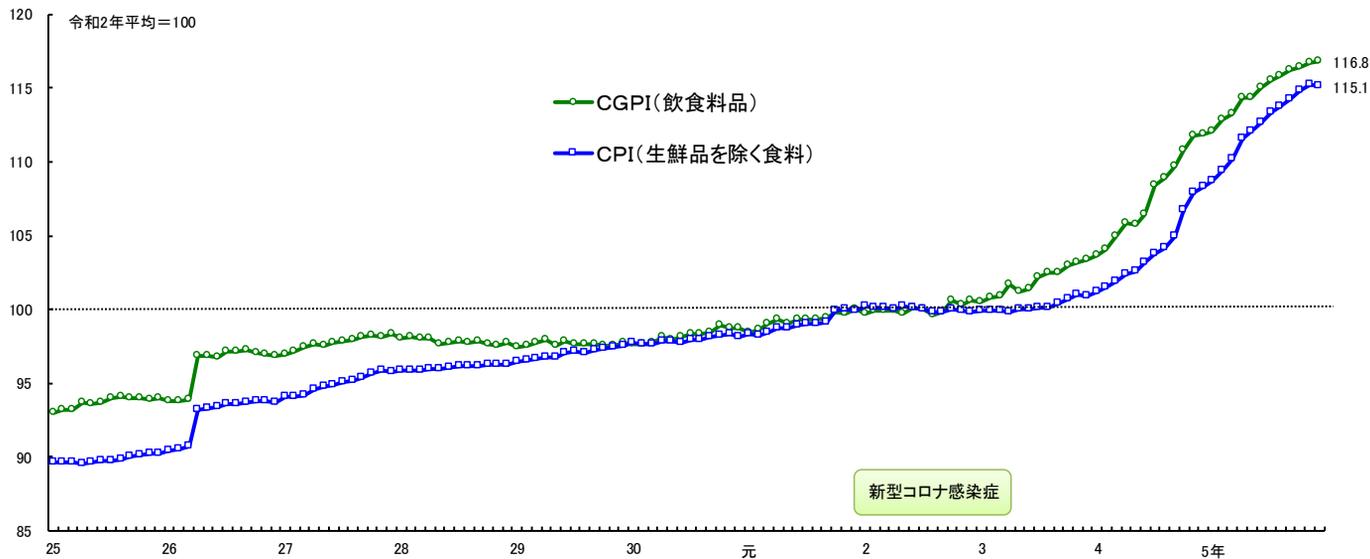


令和5年における飲食料品の企業物価指数は対前年比6.8%とかなりの程度上昇、消費者物価は8.0%とかなりの程度上昇

飲食料品の企業物価指数は、令和4年は対前年比5.6%であったが、令和5年は同6.8%と製造コストの増加を背景にかなりの程度上昇した。

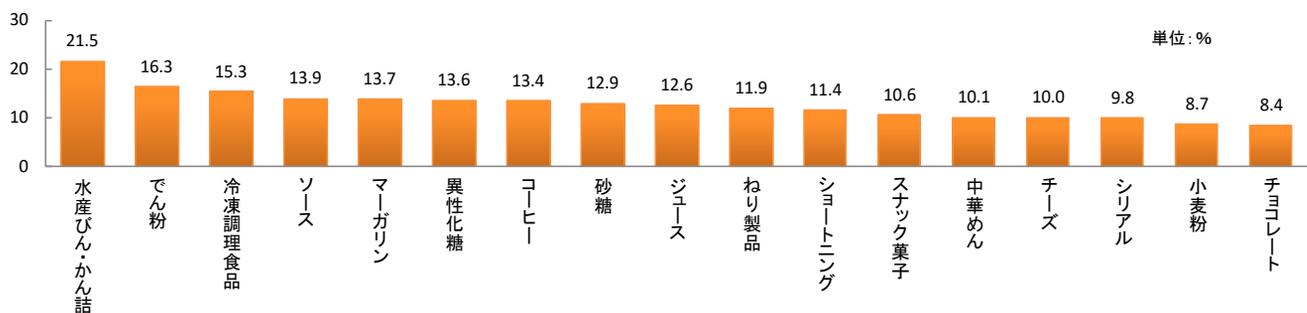
食料の消費者物価指数は、令和4年は対前年比4.5%であったが、令和5年は同8.0%とかなりの程度上昇し、近年にはない上昇幅となった。

図3 食品の企業物価指数(CGPI)、消費者物価指数(CPI)の推移



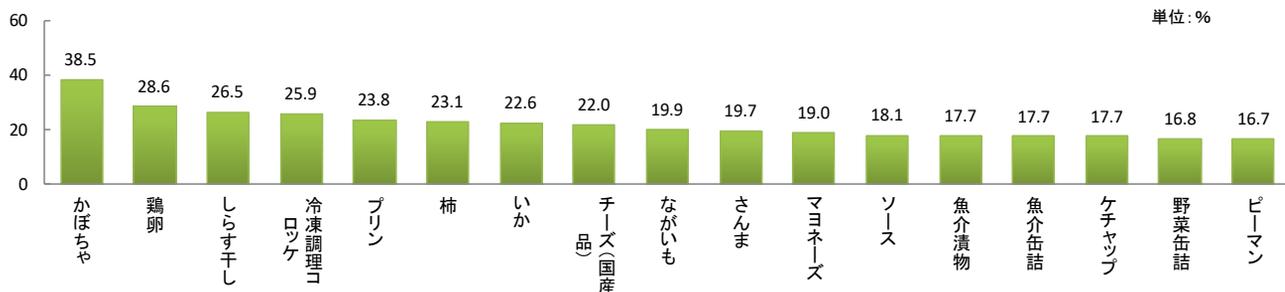
資料: 総務省「消費者物価指数」、日本銀行「企業物価指数」

図4 令和5年における企業物価の主な上昇品目 (対前年上昇率)



資料: 日本銀行「企業物価指数」

図5 令和5年における消費者物価の主な上昇品目 (対前年上昇率)



資料: 総務省「消費者物価指数」